

のアルバム

▼5月24日 三上

ゆきさいてん 悠紀斎田記念田 お田植まつり



三上山ふもとの水田でお田植まつりが開催されました。

昭和天皇の即位式後に初めて行われた大嘗祭に供える米を作る田（悠紀斎田）に選ばれたことを記念して80年以上続いています。

当日は、約50人が当時の姿で数え歌や太鼓に合わせて苗植えや踊りを奉仕しました。

伝統ある行事に多くのカメラマンや見物客でにぎわっていました。

魅力ある浜辺となりました

▼5月31日 マイアミ浜

5月30日の「環境美化の日」「ご・み・ゼロ」の日にあわせて、県内各地で「ごみゼロ大作戦」が実施されました。

野洲市では今年で10回目の取り組みになり、企業や団体、一般市民の計685人が参加して、あやめ浜やマイアミ浜などの清掃を行いました。

この日、参加者が回収したごみは計23トン。浜に落ちているごみや漂着したごみを熱心に回収し、夏を目前に美しいびわ湖岸の景観を取り戻すことができました。



▼6月7日 図書館ほか

やすまる広場 2015 開催

第7回やすまる広場 2015 が市民活動支援センター、健康福祉センター、東消防署など4会場で開催され、多くの市民団体の活動発表や展示、地元の特産物の販売が行われ、約7,000人の来場があり野洲の魅力を実感していただきました。

特に健康福祉センター会場内の「おいしいね、早寝、早起き 朝ごはん」の食育コーナーや青年会議所の「トライやす・ワーク」の職業体験コーナーは、大勢の家族で賑わっていました。

また、防災フェアも同時開催され、地震体験や煙中体験を体で感じ日頃の防災意識の向上につながるきっかけになったと思います。



歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

古墳時代のガラス小玉

野洲市小篠原の桜生史跡公園には、保存整備された3基の古墳があります。なかでも古墳時代後期の円山古墳と甲山古墳の石室内からは、多量の鉄製馬具、武具、甲冑のほかガラス小玉などの装身具が出土しました。

全国には数十万点におよぶガラス小玉が出土していますが、古墳時代後期は現在も使われているソーダガラスが主流となります。ソーダガラスは、珪砂 (SiO₂) とソーダ (炭酸ナトリウム: Na₂CO₃)、炭酸カルシウム (CaCO₃) が主成分です。

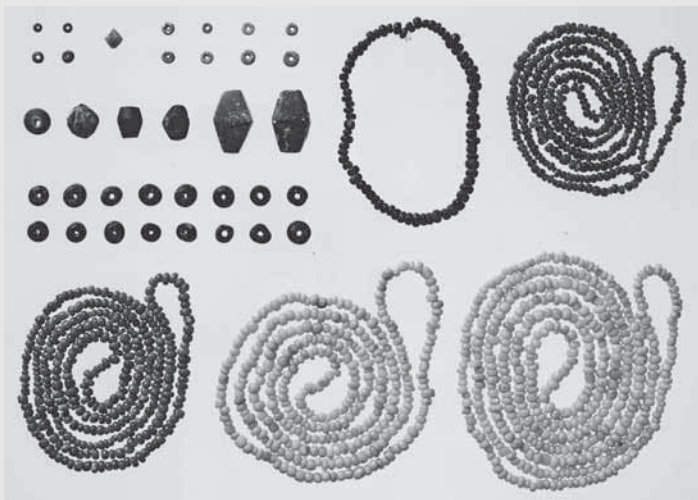
円山古墳からは、7,649点のガラス小玉が出土しました。そのうち濃紺色2,321点、淡青色2,022点、黄緑色1,445点、黄色1,417点、紫褐色311点、赤褐色133点です。石室内には二つの石棺があり、手前に家形石棺、奥に組合式石棺が置かれていました。赤褐色のガラス小玉は、石室奥の組合式石棺から出土したもので、その他のガラス小玉は石室全体に散らばっていました。

甲山古墳から出土したガラス小玉は、7,600点あります。そのうち緑色2,599点、黄色2,349点、淡青色2,197点、濃紺色424点、茶褐色31点です。石室内には家形石棺が置かれていましたが、石棺内には2つのガラス玉を残すのみで、そのほかは棺外の堆積土から見つけ出されました。

円山古墳や甲山古墳から出土した多量のガラス小玉は、和歌山県大谷古墳、奈良県牧野古墳、藤ノ木古墳に匹敵する数量です。これらのガラス小玉は、日本国内で生産されたものではなく、朝鮮半島を経由して輸入されていたことが、飛鳥時代には国産ガラスの生産が開始されるようになります。

7月11日(土)から開催する夏期テーマ展「野洲の古墳時代」において、円山・甲山古墳から出土したガラス小玉等を展示しますので一度ご覧下さい。

(博物館学芸員 徳網克己)



甲山古墳出土のガラス玉ほか



楽しむ・交流のフリーピンポン

第12回フリーピンポン滋賀県大会が開催され、12チーム、46人の選手が日頃の練習成果を発揮し競技を楽しんでおられました。

フリーピンポンは、15分5ラウンド制でどれだけ多くラリーが続くかを競う競技です。

優勝チームは、ラリー数1,326回と2位以下のチームを大きく離しての勝利となりました。

▼5月30日 総合体育館



100歳おめでとう

100歳の誕生日を迎えた深田たねさん(市三宅)を山仲市長がお祝いに訪問しました。

大正4年6月9日生まれのたねさんは、話が好きで市長と思い出話に花を咲かせていました。ご家族の皆さんでたねさんの100歳をお祝いされました。

▼6月12日 市三宅

